

-----12月17日----- 2018年

※ 今週のアウトルック (12/17~12/21)

先週は米ドル高復活の兆しがやや強くなり、クロス円は動きづらい状況となりました。米国雇用統計悪化の影響は、ドル売りを積極的に誘発する結果とはならず、NYダウへの影響の方が強かったようです。

今週はNYダウが再び、このところのサポートライン付近で週末を迎えていることから、このサポートラインを割ってしまった場合に、やや復活した兆しのあるドル高トレンドにどのような影響があるのか、まずは注目したいところです。

先週のドル円は、112.5円付近のサポートライン付近から反発し、113.5円付近まで到達しています。雇用統計の悪化の影響は限定的だったようです。

今週は、NYダウの下落が気になるのですが、112.5円付近から114円付近までのレンジを抜け出す可能性は、上方向、下方向ともに、やや低いように思います。

ドル円の予想レンジは112.5円から114円です。

ユーロ円は既に一か月近く、128円付近から129円付近までの非常に小さなレンジ内の動きが続いています。

今週も政治的に大きな要因となる発言でもない限り、このレンジから抜け出すことは、まだ難しいように思います。

ユーロ円の予想レンジは127円から129円です。

ポンド円はやはりユーロ離脱決議の影響が徐々に出ているようで、一度141円付近まで下落して、幾分持ち直した形で週末を迎えています。

今週も下落トレンドから回復する可能性は少ないように思います。

ポンド円の予想レンジは140円から144円です。

今週はNYダウの状況と、NYダウの下落幅が拡大した場合のドルへの影響が気になる所ですが、NYダウがサポートラインを割らなければ、ドル円やユーロ円などの動きも限定的となる可能性が高そうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。